

第32回旭川市民劇場賞は On7(おんな)『その類、熱線に焼かれ』に決定、総会で発表されました。

会員証の投票用紙でお寄せいただいた、旭川市民劇場賞推薦作品や1年間の例会の感想をご紹介します。

2018 私の市民劇場賞

2月例会 劇団朋友
「ら・ら・ら」



★なんとなく奥様の気持ち
がわかるような。夫が家
に居るのは、妻にとつては
つらい日がある。
★都合で観られない時が多
く、残念でした。
★原さんステキです。



4月例会 茂山千五郎家
お豆腐狂言「清水」「濯ぎ川」

★日本まんが昔話みたいで
楽しかったです。
★初めての狂言：楽しくて
笑ってあつという間の一時
でした。
★本格的な狂言を生で観た
のは初めてでしたので、と
ても良かったです。



6月例会 劇団NLT
「しあわせの雨傘」

★ストーリーの展開が面白
かった。賀来千香子の熱演
が良かった。

8月例会

On7(おんな)
「その類、熱線に焼かれ」

★忘れてはいけなないとあら
ためて思いました。



9月例会 劇団文学座
「再びこの地を踏まず」
異説・野口英世物語」

★昼の例会ですが、今年の
テーマは重い感じが多かつ
たです。
★すべて良かったです。

9月が特に良かったです。来年も楽しみます。

★なるべく喜劇のような楽しいものを観たいです。あと、8月になるといつも、まるで青年育成のように戦争に關するものが催されますが、社会人にまでになつて、もう教育はされたくないです。戦争に關するものはもうやめて下さい。

★熱がつたわつてきた。

★私が知っている偉人、野口英世ではなく彼のもう一つの顔がハチャメチャな浪費家で借金ばかり作つてどうしようもないダメ人間だけれどにくめない：そんな人物を今井さんが抜群の演技で魅せてくれた。

★自分の担当と悩みましたが、9月が良かったです。

★11月例会！と言いたところですが、9月に。「蜜柑とユウウツ」は戦争体験と、

女性として、別格の作品として。

★良かったヨ！又、よろしくネ。

★例会の組合せは色々違いがあつて、工夫されていて良いと思う。印象の強い作品を選びました。

★6本の中から1本はむずかしい。9月か4月かと考えて9月になりました。お手伝いした8月もと思いましたが、少しセリフが聞き取りにくかった。



11月例会

グループ・ばる

「蜜柑とユウウツ」

「茨木のり子異聞」

★11月は演劇だと思った。四人の女性すてき。

★茨木のり子の詩がりんとして立つ女性を見ごとに表現してます。三名ののり子、それぞれののり子いいですね。

★1年間、楽しませてもらいました。来年も期待しています。

★茨木のり子の詩が好きなので、劇化されたこと自体うれしかった。構成も面白いと思えました。

★昨年2月に入会して、2年間で12本の演劇を観せていただきました。映画、TVドラマがつまらなくなつた昨今、演劇は、健在なり：と実感しました。演者

にとつても、観客にとつても、舞台は、毎回（一期一会）であり、芝居を観て、考えさせられること、多かったです。2018年のベストワンは文句なしです。茨木のり子をユニークな視点で伝えてくれ、彼女の人生を過不足なく、チャーミングに描いてくれて、感激でした。★グループ最後の作品ということもありすが、ジンワリと心にしみるものがありました。木野花さんの存在感がハンパなかった。

